

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-IV-9

4-IV-9

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	学習教材の開発
節	IV.ホスピタリティの醸成		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	9 学習教材開発		関連団体	県文化課、佐渡市学校教育課
事業実施期間	H28～R6			
事業概要	【事業目的】 ○ 県内小・中学校等に対し、佐渡金銀山についての正しい知識の普及を図り、地域の誇りと郷土愛の醸成を図る。 【事業内容】 ○ 県内小・中学校等の学齢に合わせた副読本等を開発(現行の副読本の更新・見直し)し、その活用を図る。 【本計画終了時点のゴール】 ○ SDGsの理念をふまえた内容となるよう、令和6年度末までに副読本の改訂作業を完了させる。			
これまでの取組実績	○ 現行の副読本の記載内容を精査するとともに、小・中学校での活用方法について検討を行った。			
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 世界文化遺産登録に伴い、既刊の副読本の内容を改訂する。 【R6年度実績】 ● 小・中学校の副読本の改訂及び発行を行った。			
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ B ・ C] ◇ 計画通りであったことから、B評価とした。			
課題	■ 将来的に情報の更新があった場合、定期的な見直しを検討する必要がある。			

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。